

NEWS RELEASE

2023.10.24

9線10ホームを擁する民鉄最大級の鉄道ターミナル駅の完成から50年 現在の大阪梅田駅が開業50周年を迎えます！ 大阪梅田駅の歴史を振り返る写真パネル展や記念イベントなどを実施します ～山田駅も開業50周年を迎えます！～

阪急大阪梅田駅^{※1}を、JR東海道本線・JR大阪環状線の北側に移設してから、本年11月23日(木・祝)で50周年を迎えます。

阪急電鉄では、この大阪梅田駅の開業50周年を記念して、11月1日(水)より、同駅の歴史を振り返る写真パネル展や記念列車などの企画を実施するほか、11月23日(木・祝)には、大阪梅田駅において記念イベントを開催します。

詳細は、次ページ以降のとおりです。



<大阪梅田駅のあゆみ>

阪急大阪梅田駅は、1910(明治43)年2月22日^{※2}に、阪急電鉄の前身である「箕面有馬電気軌道」の始発駅として、現在の大阪梅田ツインタワーズ・ノースのビル南端の地上部分に誕生しました。その当時の駅舎は木造2階建てで、単線ホームの小さな駅でしたが、時代の移り変わりとともにお客様が増えたことを受け、駅の規模を大幅に拡大するため現在の場所へと移設し、9線10ホームを擁する民鉄最大級の鉄道ターミナルとして現在に至っています。詳細は別紙のとおりです。

※1：2019年10月1日に「梅田駅」から「大阪梅田駅」に駅名を変更しました。

※2：鉄道営業の開始は1910年(明治43年)3月10日

大阪梅田駅の開業50周年を記念する企画について

1. 写真パネルの展示

- 展示期間 11月1日（水）～11月30日（木）
- 展示場所 大阪梅田駅 1F中央WEST広場
- 内 容 時代の移り変わりとともに、大きく変わってきた大阪梅田駅の姿を、年代別にご紹介します。

2. 記念列車の運行

- 運行期間 11月1日（水）～11月30日（木）
- 対象車両 神戸線・宝塚線・京都線の各線に1編成ずつ（合計3編成）
- 内 容 50周年を記念したオリジナルヘッドマークを掲出します。また、車内では大阪梅田駅の歴史や阪急阪神ホールディングスグループの大規模プロジェクト「芝田1丁目計画」を紹介するポスターを掲出します。



<神戸線>



<宝塚線>



<京都線>

3. 記念入場券の発売

- 発売期間 11月1日（水）～11月23日（木・祝）
- 有効日 11月23日（木・祝）のみ
- 価 格 510円（税込） ※3枚・1セット／大人のみ
- 発売場所 大阪梅田駅の各ごあんないカウンター
※11月23日（木・祝）は、記念イベント会場（1F中央WEST広場）でも発売





4. 記念イベントの開催

- 開催日時 11月23日(木・祝) 10～14時(予定)
- 開催場所 大阪梅田駅 ビッグマン前広場・1F中央WEST広場・6号線留置車両内
- 内容
 - (1) ステージイベント

大阪梅田駅に関する〇×クイズ大会や、JR西日本・Osaka Metro・阪神電気鉄道各社によるイベントを実施します。[場所:ビッグマン前広場]
 - (2) お子様向けイベント
 - ① 阪急電車、阪神電車の制服・制帽を着用して行う撮影会、ぬりえ大会を実施します。
[場所:1F中央WEST広場]
 - ② 大阪梅田駅6号線留置車両内での車掌の放送体験を実施します。
[場所:6号線留置車両内]
 - (3) その他
 - ① 記念入場券や記念グッズを発売します。[場所:1F中央WEST広場]
 - ② 記念スタンプを設置します。[場所:改札内3か所]

5. 記念グッズの発売

- 発売日 11月23日(木・祝)
- 発売場所 大阪梅田駅 1F中央WEST広場

※いずれも数量限定での発売となります。

※一部のグッズは、阪急電車グッズ公式オンラインショップ「HANKYU DENSHA SHOP」でも発売します。
(<https://www.hankyudensha-shop.com/>)

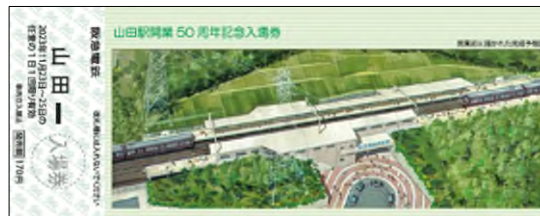
駅名看板亚克力 2連キーホルダー(2種)	ヘッドマーク 缶バッジ(3種)	復刻版・鉄製ミニチュアヘッドマーク(14種)
各800円(税込)	各300円(税込)	各1,000円(税込)
 <p>駅名看板サイズ: 55×31mm</p>	 <p>サイズ: 直径55mm</p>	 <p>本体サイズ: 円板直径65mm・角板44×67mm</p>

※各商品の画像はイメージです。

山田駅の開業50周年を記念する企画について

11月23日（木・祝）に、千里線山田駅も開業50周年を迎えます。これを記念して、11月1日（水）より、山田駅の開業当時の姿と1970年の大阪万国博覧会にあわせて設けられた「万国博西口駅」を振り返る写真パネル展や、記念入場券（3枚・1セット／大人のみ）の発売を行うほか、オリジナルヘッドマークを掲出した列車を京都線で運行します。

また、11月25日（土）には、お子様向け記念イベント（会場：山田駅西改札外コンコース）の開催や記念グッズの発売、京都本線の9300系車両が特別に千里線を走るイベント列車の運行（有料、事前申込制^{※3}）を実施します。



<記念入場券>



<ヘッドマーク>

駅名看板亚克力2連キーホルダー（2種）



復刻版・鉄製ミニチュアヘッドマーク（6種）



ヘッドマーク 缶バッジ（1種）

<記念グッズ>

※画像はイメージです。

※仕様・発売額は大阪梅田駅発売分と同じです。

※3：10月25日（水）より、阪急電鉄ホームページにて申込みを受け付けます。

各イベントの詳細については、10月25日（水）より阪急電鉄ホームページでご案内いたします。
<https://www.hankyu.co.jp/topics/>

以上

【添付資料】 別紙 大阪梅田駅のあゆみ

【ニュースリリース配付先】 青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ ほか

大阪梅田駅のあゆみ

別紙

1910年	阪急電鉄の前身「箕面有馬電気軌道」が、国鉄（現JR）の南側に梅田駅を開業	写真①
1926年	地上駅から高架駅となる	
1934年	国鉄の高架化に伴い、再び地上駅（現在の阪急うめだ本店前のコンコース部分）となる	写真②
1959年	梅田～十三駅間で複線（京都本線）を増設し、民鉄初の三複線が完成（神戸本線・宝塚本線各3線、京都本線2線の計8線9ホーム）	写真③
1966年	乗降客が増加したことに対応し駅の規模を拡大するため、現在の場所への移設工事を開始	
1973年	9線10ホームを擁する梅田駅が完成	写真④
2015年	「劇場空間 阪急スタイル」をコンセプトに全面改装	写真⑤
2019年	梅田駅から大阪梅田駅へ名称を変更	写真⑥



① 開業当日（1910年3月10日）の梅田駅



<1934年>



<現在>

② 高架から切替後の地上ホーム



③ 京都本線（梅田～十三駅間）の増設により三複線が完成し、試運転を行う列車の様子



④ 阪急梅田駅完成セレモニー



⑤ 全面改装されたビッグマン前広場周辺



⑥ 終電後に行った駅名看板の取替作業の様子